

1 研究主題

**情報活用能力を発揮し、探究する子どもの姿をめざして**

2 研究の具体

予測困難なこれからの未来にも、たくましく生きる子どもをめざし、自ら問いや課題を見つけ、解決に向けて情報を収集・整理・分析しながら、周囲の人と協働し、自分の最適な答えを見つけていくという、「探究する子どもの姿」をめざしている。自らその事象に働きかける姿、すなわち「探究」するためには、これまでの既習事項や日常生活など、あらゆる場面で培ってきた情報活用能力を活用し、子どもたちが自ら設定した問いを解決するために必要な情報を自ら取捨選択し、使いこなしていけるようになることが必要不可欠である。そのために、身に付けた情報活用能力を発揮しながら、「問いをもつ」→「調べる」→「まとめる」→「伝える」→「振り返る」という探究の学習過程を意識しながら、子どもたちの資質・能力の育成をめざして、授業改善に取り組んできた。

視点1 探究する子どもを育てる授業づくり

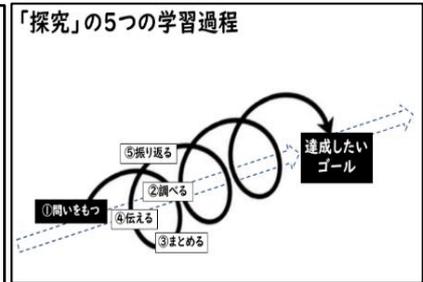
- 探究の5つの学習過程
  - ・特に今年度は、「問いをもつ」段階、「ゴールを子どもが意識する」段階に重点を置く

視点2 情報活用能力を育成・発揮する状況づくり

- 情報活用能力は、様々な場面で育成・発揮する場面の明確化
  - ・年間指導計画への位置づけ
  - ・単元での情報活用能力発揮場面の設定
- デジタル・シティズンシップ教育の推進

視点3 日常的な ICT 機器の活用と運用の工夫

- ICT 機器操作スキルの向上・研修（児童・教員）
- ICT 機器運用のルールづくり
- 日常化を図るための環境づくり



【林小「探究」5つの学習過程】



【必要な情報を吟味し、収集する児童】



【ICT 機器を活用した研修の充実】

学習内容	レベル1	足跡	レベル2	足跡	レベル3	足跡
記録と編集	写真や動画のざつえい、音声の記録ができる		写真やえいぞう、音声の加工・へん集ができる		目的や情報の種類に応じて、アプリケーションを選たく、活用できる	
PC操作	ローマ字で文字入力ができる		ファイルの管理ができる		クラウド等を用いた協働作業のためにコンピュータを活用できる	
ウェブ検索	キーワードでけんさくできる		見つけたい情報をキーワードを選んで見つけることができる		AND,ORなど条件を工夫してけんさくできる	

**(小学校下学年) (小学校上学年) (中学校)**

【情報活用能力表を教員も子どもも指標にする】

3 研究の検証及び改善の手立て

〔成果〕 ○教員がどの場面でどのように ICT 機器を活用するのか、何度も話し合い、実践したことで情報活用能力が少しずつ育っていることを実感した。

○児童は、タブレット PC などの ICT を使って、友だちと交流することで、自分の考えが広がったり深まったりしたと感じており、課題に対する意欲の高まりが見られた。

○自ら必要な情報を調べたり、自ら取捨選択したりする力が昨年度よりさらに向上した。

〔課題〕 ○探究のサイクルを児童が意識するとともに、内容に合わせて ICT 機器の使い方を変えていったり、情報活用能力の発揮の幅を広げたりすることで、探究する力をさらに高めると考えている。

タブレットなどのICTを使って、友だちと交流することで、自分の考えが広がったり深まったりしたと感じていますか。

